

大埜堰ふる里づくり協議会

◆組織概要

- ・活動期間：平成19年より実施
- ・協定面積：88.47ha（田：36.60ha、畑：51.87ha）
- ・交付金額：2,297,070円

◆発足の経緯とこれまでの活動

地区内の耕作放棄地の存在が、現在も営農している農家さんにとって迷惑であったことから、本制度による活動を取り組み、耕作放棄地を解消しようと団結したことが、活動組織発足の経緯である。

地道な活動が実を結び、現在では約3haの耕作放棄地を解消している。耕作放棄地を解消したことがきっかけで、景観が良いということで、地元ワイナリーである、サントリーが甲斐市に働きかけ、観光バスが通れるように農道を拡幅する整備まで行ったこともある。

広域農道沿いに菜の花を植える景観形成活動の実施、ジャガイモ、キクイモを育て、育成会と農業体験を計画したこともあった。

最近では、甲斐市の商工会議所から、耕作放棄地にクワを植えたいとの働きかけがあり、現在調整中である。

◆活動内容

- ・水路の草刈り・泥上げ
- ・開水路の配水操作
- ・農道路肩・法面の草刈り
- ・農道の点検・機能診断
- ・ため池の点検・機能診断・雑草対策
- ・水不足に伴うため池への水中ポンプ設置
- ・農用地法面の草刈り及び点検・機能診断
- ・異常気象時の見回り
- ・遊休農地発生状況の把握
- ・遊休農地発生防止のための保全管理・除礫

- ・地域住民との交流活動（施設等の定期的な巡回点検・清掃）
- ・景観形成の為の植栽

◆実施状況



水路・農道の保全管理



異常気象時の見回り



遊休農地発生防止のための保全管理



地域住民との交流・景観形成活動